平成27年度　第3回保幼小連絡会（福岡教育大学附属幼稚園保育参観）実施報告　　H28．1．28実施

《実施内容》参観オリエンテーション、保育参観（年少、年中、年長クラス見学）、意見交換会
《出席者》小学校教諭１４人　保育所保育士等１８人　幼稚園教諭等１５人　市職員１０人　教育委員会３人（合計６０人）

参加された先生方から、大切だと思ったこと、新たな発見、これからやってみようと思うこと等、感想やご意見をいただきました。

保育所

1　子どもへの伝え方、丁寧さが伝わった。

2　話す、聞くことから環境の作り方や話し合う時の人数について考える機会となった。

3　部屋に制作のコーナー、絵本のコーナーがあったのが良かった。

4　年長児のコーナー遊びでのレストランごっこでは、しっかりとしたルールがあり、それを子ども達が理解して遊べていると思った。また、手づくりの壁やドア、品物など工夫されていた。

5　保育3年間を通して、話をきくこと、伝えることが身について、発展して皆で話ができているところが良いと思った。

6　いろいろな場所で、いろいろな友だち、異年齢児との遊びを通して様々な素材を自由に使って遊べていて良かった。

7　先生方がとても優しかった。子ども達も、とても落ち着いていた。

8　各クラス、年齢に合わせたコマがあり、年中児がとても集中して遊んでいた。カプラ（積み木）でパチンコ台のようにしていたのも工夫されていて良かった。

9　自分の勤務する保育園と教育大附属幼稚園との環境面がとても違うことに驚いたが、どれも参考になるものばかりだった。初めての他の園の見学だったので見るものすべてが新鮮で、意見交換会では普段は接することの少ない副園長、主任、支援センターの方々の話を聞けて、今後につなげていける話ができた。

10　4歳児の「むしのようちえん」すばらしかったです。子どもたちの興味点をしっかり受け止め、引き出し、楽しくつなげていて感動した。

11　参観では、十分に遊びのコーナーがあり、トラブルなく、子どもたちが伸び伸びと遊んでいるところがすばらしいと感じた。3歳児同士からでも、友だちと助け合う場面（着脱）をつくったりと、素敵だなと感じた。

12　グループ討議では、特別支援学級の仕組み、どう保護者に勧めていくかなど小学校の先生から教えていただき、とても勉強になった。

13　就学に向け、小学校の職員の方と意見交換をすることができて良かった。残り2ヶ月と短い期間であるが、子ども達としっかりと向き合っていきながら保育していきたい。

14　子ども達の思いや気持ちを全体で共有していくことの大切さを感じた。（耳を傾け受容する）

15　子ども達同士で解決していけるような環境の大切さを感じた。

16　「話を聞く」ことの大切さを改めて感じた。今日の保育を参考にさせていただきたい。

17　小学校の先生の話を聞くことができ、保育園の間にしておかなければならないことを再認識できた。

18　環境設定がしっかりされていた。子どもの意欲を引き出せると感じた。

19　年少時の部屋は、写真の表示で視覚的にわかりやすいように工夫され、余計な声掛けをしなくてもポイントの補助だけでスムーズに流れているので良かった。

20　年中児については、一人一人の話にきちんと耳を傾けて気持ちを受け止めていたが、人数が多いので、全体の場で話を聞くには長すぎて、集中力がもたないのではと思った。

21　年長児については、活動に意欲的で自分で遊びを見つけ、活動の切り替えもスムーズで、聞く姿勢もしっかりできている。

22　子ども同士の言葉でのやりとりが充実していて、取組の様子が学びとなった。

23　子どもだけではなく大人もすべて「聴く」「聞く」ということの大切さを話し合いのグループ討議を通して再認識・再確認した。話をきける子どもは、まずは話をすることにより聞くことへのポイントを押さえての大人の指導のあり方も含め、とてもよい勉強会となった。子どもの発達に応じ、たった今から、グループで話をした大切な「きく」という宝物のようなワードを子どもたちのために作っていきたい。

24　小学校側からどういったことを要求されるのか、学校生活をイメージして子どもたちへの要求を行っていくべきかを迷いながら保育していました。しかし、今日「学校へ上がるまでに多くのことを経験させてあげてください」との言葉をもらい安心した。多くの経験だけでなく、その中での気付きややりきる力、集中する力、楽しむ心を育むことをねらいとして保育していきたい。

25　様々な遊びの環境設定が参考になった。

26　「ききましょう、おはなししましょう」で1日の振り返りの時間をとても大切だと思った。人の話をきく、自分の意見を言う、それを受け止めてくれる先生がいる。一人一人が認めてもらえているという自信につながると思った。

27　活動から活動への切り替えが難しい子もいると思う。保育と学校の授業と1番異なる部分なので、うまく対応することが大事である。

28　1日の活動を振り返る時間があり、子どもが自由に発言できる場があって良い環境だった。
人の話を聞いて、自分の話を聞いてもらうという環境が作られていて良かった。

29　部屋に子どもが自由に行き来できる空間があり、異年齢児と関わりながら遊ぶことができる。

30　今回の公開保育を見せていただく中で、保育者が作る環境に大きな意味があり、子ども達の意欲にもつながっているのだと思った。保育が充実しているからこそ、遊びの発展があると知ることができた。

31　先生方が子どもの発達をよく理解して関わっていることがよくわかり、すばらしいと思った。子どもの遊びが途中で切れないように保育が流れていた。（一斉保育ではなかった。）

32　振り返りの時間に「ききましょう、おはなししましょう」があるのが、いいなと感じた。友だちの話をよく聞いて尋ねたりする力は、学習の基本となるので、この力を小学校でも引き継いでさらに伸ばしていければと思う。

33　異年齢での自由遊びはとても楽しそうで、大切なことだと感じた。場の設定、時間の確保がしっかりあったので、主体的に考えて活動する姿が見られて勉強になった。

34　すぐに保育者が手をかしたり、声をかけるのではなく、子ども達にも考える時間を与えることの大切さを知った。

35　「ききましょう、おはなししましょう」という事を改めて考えることができた。普段の自分の保育を振り返り、子ども達の声にきちんと耳を傾けられるようになっていきたいと感じた。一方的な保育ではなく、子ども達が主になって、子ども達が安心できる保育をしたいと思った。

36　子ども達が自分の意志で遊びを選べて楽しく工夫できる環境が良かった。

37　聞くこと、話すことの大切さを学んだ。

38　子どもに促す言葉や提供する言葉がとても教育的だった。

39　他の園の保育を見させていただくことはとてもありがたい。保育の中で育てていくべきことはとても多いと改めて感じた。身辺自立、コミュニケーション力、社会性が大切なのかなと思った。

40　今回「人の話を聞く力をとても大切にされていて自園でも取り組んでいきたいと思った。それが社会性やコミュニケーション力にもつながると感じた。

41　子ども達が人の話をよく聞いていました。「聞きましょう」が先というお話が印象に残った。

幼稚園

1　工作用具など目の前に道具および材料が揃えてあり、意欲につながっている。

2　一人一人の意見をしっかり聞くことができている。その話に対して、また話をつないでいく姿は園でも取り込みたいと感じた。

3　縦割りの遊びがとっても充実している。環境が整っているのでうらやましく思った。

4　子ども達に自分で考えさせる声かけをされていたのが勉強になった。グループで、他の園の先生から様子をきけてよかった。

5　附属幼稚園さんの穏やかな空気と子ども達の良い笑顔、先生方の優しい目、とても良い環境でした。参考になった。

6　小学校に向けて身につけておく必要があることを知った。（字、ひらがなについて、給食について、生活習慣面について）

7　自分のことを人に伝える力、人のことに興味を持って聞く力を高めたい。言葉がうまく出なかったり、どう伝えたらよいかわからない子が多い。保育者が話を引き出す力が大切だと思った。

8　自分で考えて行動する力を身につけていきたい。保育者は援助ばかりするのではなく、見守ることの必要性を感じた。

9　特別支援学級のお話を細かく教えていただき、現状がどうなのかなど課題点も知ることができて、とても良い機会となった。

10　朝の活動において教師不在でも自主的に行われていた。

11　ドングリの実生を育てていて、数年後の成長が楽しみである。

12　今日を表すカレンダー（赤磁石を伸ばすように表示するもの）があり、時間の流れとつながりを感覚的にとらえることができてすばらしい。

13　お互いの話を聞くゆとりが十分にとれていた。「待つ」ということが必要と感じた。

14　話を聞く力を身につける方法として、遊びのことを話題にしてみたり、教師がうまく仲介したりなど、色々と考えさせられる良い機会になった。

15　うがいを待つ順番、いすをテープの名札のところのおくなど、基本的生活ルールができていた。

16　教師間の連携が良かった。（遊びと場所によってアイコンタクトで援助に向かっている）

17　友達とのやりとりが生まれる遊びの環境がある。

18　様々な場所や遊びに自由に出入りできる環境がある。

19　遊びが継続し、発展するような工夫があった。

20　子ども達に考えさせるような担任の言葉かけがあった。

小学校

1　（空間の設定）柔らかいブロックの上にラグを敷いたり、そのまま床にラグを敷いたりしてセットしている。子ども達が活動しやすそう。ボックスやティッシュペーパーの箱、牛乳パックなどが利用されていた。片付けも場所ごとにきちんとできる工夫があった。

2　（施設、アトリエ）自由に取り出して使える材料があり、作りやすい空間設定の中で子ども達は活動していた。

3　（先生の声かけ）子どもの気付きを促す声かけをしていた。「今〇〇さんが話しているよ」など。

4　振り返りの時間で、今日の活動について「言葉で伝える。しっかり聞く。」ができていた。先生がやさしく、聞くよう促していたところが目についた。

5　「聞く」姿勢づくりに努力されていることに感心させられた。幼児期に「しっかり聞く」「相手を思い受け入れる」態度を身につけることは、入学後にとっても生きていくと思う。

6　異年齢集団の活動は、幼児期にとても大切なことだと感じた。モデルとしての年長さんが素敵だった。入学後に逆もどりしないように小学校で生かせたらと思った。

7　保・幼の先生方と小学校の基本となる「話す・聞く」の話ができたことが良かった。課題は小学校と似ているが、目指すところは同じ方向を向いている。今後も保・幼と小学校がつないでいくことはたいへん有意義だと思う。

8　幼稚園での保育の様子を見る機会をいただき、保・幼・小の先生たちが意見交換できる場を設けていただいて、とても良かった。

9　小1でスムーズに安心して子どもたちが学校生活を送れるように、保・幼で高めてもらっている力を育てていきたい。

10　小1で困っていること（おはしの持ち方、和式トイレが苦手なことなど）を伝えられて良かった。

11　担任の先生が子ども達のお話をしっかり聞かれていて、きちんと整理されて効果的かつ愛情ある指導を学ぶことができた。

12　いろいろな立場の方とお話しできてとてもためになった。市役所の方も話してほしかった。

13　子どもたちが自分の思いをしっかり出し合っていることがすばらしかった。小学校ではなかなかできないのでうらやましい。

14　縦割で交流していて、それが自然に楽しそうに行き来していたことがとても良かった。

15　子ども達の発想やルールを守ること、人との関わり、さまざまな身につけるべき力が「ごっこ遊び」の中にたくさんあることがわかった。楽しく学べていることのすばらしさを感じた。

16　教室がつながっているが、他のクラスの音（大きさ）を気にせず、みんなが先生の方に集中していたことがすばらしい。

17　幼稚園の先生方が子どもの話をよく聞いているなあと思った。トラブルになった時に聞きとって、子どもが安心できるようにされていた。

18　振り返りの時間をしっかりとっていることで、個々のあそびを十分楽しんだ後、話題をみんなで共有することができていた。教師が間に入りつつ、子ども達の発言をつなぐことで、聞く力が身についていると感じた。

19　大人がたくさん見ている中、自分たちの遊びの世界に浸っていることがすごいと思った。

20　（充分な時間の設定）遊びに浸る時間のみでなく、片付けにもしっかり時間がとれていた。「早く…」の声かけを一切することなく、子どものスピードに合わせて見守っていた。

21　必要の社会性というものがある。自由に保育する中でも、個別にでもかまわないので、その社会性の基礎を培う配慮が必要。

22　「聞く、話す」を必要なものとして教育の方針としていることはすばらしいと思う。それぞれの自我がまるみえで面白かったが、やりっぱなしではなくルールがあった方が良い。

23　保育園、幼稚園の先生との情報交換は有益。特にそれぞれが個性と方針を持って教育を進めることが大切。つなぐ手立てや見通しも互いにもてると良い。

24　5才児の話し合いが、話す人、聞く人、お尋ねする人と年令に応じた形が見えたので、小学校でもそれを引き継ぎ、1年生でも話し合うことができると気付いた。

25　異年齢で行き来ができ、子ども達が関わりながら遊びを十分楽しみ、その中に学びがたくさんあるのだなと感じた。

26　活動の場がきちんと設定してあり、子ども達が遊びやすく工夫してあると思った。

27　「ききましょう、おはなししましょう」で年中さんも円になってお互いの顔を見ながら聞いたり、話したりできたのがすばらしいと思った。

28　自由な遊びの中で子ども達の関わりがたくさん見られたのが良かった。（お互いの声かけ、ゆずりあいなど）

29　遊びの道具の準備や片付けがスムーズにできるように、きちんとルールや活動の流れができていたのがすごいと思った。

30　幼稚園・保育園の子ども達でも当番活動をしたり、みんなで協力して片付けをしたり、話し合って解決したりしていた。伸びている力を小学校でも育てていけるようにしていきたいと思う。

31　環境づくりや先生の支援の仕方が上手くて小学校でも参考になった。幼い子でも、こんなふうに支援すれば、自分でやってみようという意欲をもたせることができるのだなあと思った。

32　すき間時間の工夫がされている。片付けの後、トイレを待つ時間など。

33　遊びの道具の準備や片付けがスムーズにできるように、きちんとルールや活動の流れができていたのがすごいと思った。

34　遊び、時間の流れにより、ルールが分かるようになっている。

35　子どもの思いを大事にして、活動が発展している。

36　保育士の子どもに返すことばがすばらしい。（自己決定。聞くことを促す。）頭から教え込むのではなく、受容し、考えさせている。

37　言語を大切にする教育を！！聞く力・話す力を育てる。そのためにペア、グループなど少人数で話す機会を多く与えるなどの工夫をする必要性を実感した。

38　環境を大切に。（廃材の利用。作品の掲示）　園の活動を通していろんな材料を活用して、工夫して遊べる子どもに育てていきたいと思う。